

玉井小だより

平成28年4月26日

大玉村立玉井小学校

TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

PTA全体会で感謝状が贈呈されました

4月20日(水)に行われた授業参観、PTA全体会そして学年懇談会には、たくさんの保護者のみなさまに参加していただきました。本当にありがとうございました。全体会は用意した椅子では足りず、急きょ家庭科室から丸椅子を運び込んだほどでした。教育は学校だけでできるものではありません。保護者のみなさまのあたたかなご協力・ご支援に心から感謝しております。

全体会では、会長の鈴木裕也さんから、昨年度のPTA会長武田智道様と副会長橋本千夏様に、感謝状が手渡されました。夏の親子キャンプの企画・運営など、玉井小PTA活動の新たな一歩を進めていただきました。本当にありがとうございました。今後ともご支援とご指導をお願いいたします。



【前PTA会長武田智道様】



【前PTA副会長橋本千夏様】

『津波 てんでんこ』

4月25日(月)、今年度初めての避難訓練を行いました。「大きな地震が発生し、家庭科室から出火した」という想定で行いました。放送の指示を黙って聞き、予め定められた避難経路を、全児童が整然と避難しました。1年生も慌てることなく真剣に訓練に参加していました。幼稚園のときから小学生と一緒に避難訓練を行ってきた成果なのだと思います。

さらに、常に考えておかなければならないのは、「子どもたちが一人にいるとき」の避難や安全の確保です。下校の途中や家で一人で留守番をしているときなど「子どもたちが一人にいるとき」に、大きな地震が起きることも考えておかなければなりません。洪水や

火山の噴火など、天災はいつやってくるかわかりません。

東日本大震災の後、『津波てんでんこ』という防災標語が知られるようになりました。地震が起きたら、次には津波が来るかもしれないから、それぞれ自分で考え、自主的に高台に逃げるのが大切だということです。これは自分だけ助かればいいというようなことではなく、予めお



【幼小合同の避難訓練】

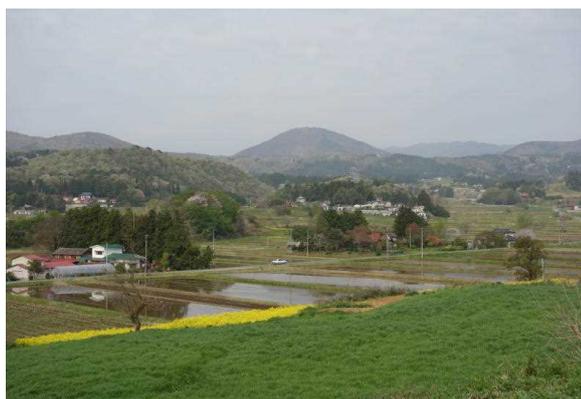
互いの避難する行動を話し合っておくことが大切だということです。離ればなれになって、お互いに探し回って逃げ遅れないための教えなのだそうです。互いに探して共倒れになるのを避けるためなのです。

5年前のあの大地震で大きな津波に襲われた釜石市では、以前から、この『津波てんでんこ』を標語に避難訓練をしていました。そのため釜石市の小中学生のうち、当日登校していた子どもたちは全員が生存し、「釜石の奇跡」と言われました。

昨日の避難訓練の全体会では、放送や先生方の指示に従って整然と避難すること、さらには、一人のときには、たとえ一年生であっても「自分で考え」避難しなければならないこと、「自分の命は自分で守る」ことを話しました。これから様々な機会にくり返し指導していきたいと考えています。

家庭でも、災害が発生したときに、どこが危険な場所で、どこへ避難すればよいのかといったことを、普段から話し合っておくことが大切だと言われています。是非、これを機会に話をしてみてください。

「歩こう会」を今年度からはじめます



【大玉村の美しく豊かな自然】

4月28日(木)は「歩こう会」の予定です。今年度から全学年で実施することにしました。子どもたちが実際に自分の足で歩き、大玉村のよさを理解するとともに、体力の向上を図ることがねらいです。例えば、5年生は本揃地区、そして八幡宮まで歩きます。「田植え踊り」の伝統を守っている本揃の地域を見てくることは、とても大事なことだと思います。途中の田んぼ

も少しずつ水が張られ、輝いているのではない

でしょうか。菜の花も今が盛りです。大玉村の美しい自然を体で感じてほしいと思っています。

そして、友だちと一緒にお話をしながら歩くことが、どんなに楽しいか実感できるのではないのでしょうか。その経験は、大人になっても忘れられない大事な思い出になっていくと思います。

郷土愛とか、ふるさとを大事に思う心などは、そのような小さな体験の積み重ねの中から生まれるのではないのでしょうか。

ご家庭でも「歩こう会」についてお子さんと話をさせていただくと、子どもたちの意欲も高まると考えます。よろしくお願いします。

年に一度の遠足、「歩こう会」で体力が向上したり、郷土愛が育まれたりするものではないとは思いますが、それでも、これを機会に子どもたちが歩く楽しさを味わい、自ら進んで歩こうとする「きっかけ」にはなるのではないかと思います。

子どもたち一人ひとりの心に残る体験になることを心から願っています。